

# ジノテフラン粒剤によるアカヒゲホソミドリカスミカメの防除

新山徳光・飯富暁康・糸山 享

## 1. ねらい

近年、秋田県ではアカヒゲホソミドリカスミカメを主体とした斑点米カメムシ類の多発生により、斑点米による等級低下が問題となっている。その防除対策のため殺虫剤の散布回数が増加し、労力および生産コストを増加させている。

そこで、これらの問題を軽減する新しい防除技術として、ジノテフラン粒剤の湛水散布によるアカヒゲホソミドリカスミカメの防除効果および散布適期を明らかにする。

## 2. 試験方法

### 1) ジノテフラン粒剤の防除効果

2001年に雄和町の一般圃場で行った。品種はあきたこまち、移植日は5月12日、出穂期は7月31日で、その他栽培管理は農家慣行によった。試験区は1区90m<sup>2</sup>(9m×10m)、3連制(無処理区は2連制)とした。中干し終了後の7月18日に各区を畦畔板(波板)で区切った。処理時期は7月27日(出穂期4日前)、8月3日(出穂期3日後)、8月11日(出穂期11日後)とし、湛水後、ジノテフラン粒剤3kg/10aを手散布した。散布時の水深は概ね3cm程度であったが、区により0cmから5cm程度の違いがあった。散布後7日間止水した。カメムシ類のすくい取り調査は各区20回振りで行い、8月3日から9月14日まで原則7日間隔としたが、天候状況等により適宜、変更した。斑点米調査は、9月17日に各区から100穂を抜き取り、乾燥・調整後、精玄米(1.85mm以上)について行った。

### 2) 散布適期の検討

試験は2003年に農業試験場内の圃場で行った。品種はあきたこまち、移植日は5月13日、出穂期は8月5日であった。散布時期は出穂期、出穂期5日後、同10日後、同1

5日後とし、1区80m<sup>2</sup>(16m×5m)2反復とした。各区、湛水後、ジノテフラン粒剤3kg/10aを手散布した。斑点米調査は9月18日に各区10株を刈取り、乾燥・調整後、精玄米(1.85mm以上)について行った。

## 3. 結果及び考察

1) ジノテフラン粒剤3kg/10aを湛水状態で散布することにより、斑点米の発生を抑えることが可能であった。防除効果は散布時期によって異なり、出穂期前の散布では防除効果が劣り、出穂期11日後散布の効果が最も高かった(表1)。出穂期11日後散布の効果が高いのは、斑点米被害の主体である側部斑点粒が少なくなるためである。

2) 本粒剤の出穂期11日後散布は登熟期後半に発生するアカヒゲホソミドリカスミカメ幼虫の密度を抑制するため、防除効果を発揮すると考えられた(図1)。

3) 散布時期別に防除効果を検討したところ、出穂期10日後散布の防除効果が最も高かった。このことから、本粒剤の散布適期は出穂期10日後頃で散布適期幅は狭いと考えられた(表2)。

## 4. まとめ

斑点米カメムシ類のアカヒゲホソミドリカスミカメに対する新しい防除技術として、ジノテフラン粒剤の湛水散布の防除効果および散布適期を検討した。その結果、本剤の出穂期前散布は防除効果が劣ったが、出穂後散布は防除効果が認められた。本剤の出穂期後散布はアカヒゲホソミドリカスミカメ幼虫の発生密度を抑制し、斑点米の主体となる側部斑点米の発生を少なくするため防除効果を発揮すると考えられた。また、散布適期は出穂期10日後頃と考えられた。

表1 ジノテフラン粒剤の斑点米防止効果 (2001年)

散布時期	調査粒数	1,000粒当たり斑点米粒数			斑点米混入率(%)	薬害
		頂部	側部	他		
出穂期4日前	8,433	0.04	1.51	0	0.155	-
出穂期3日後	8,954	0.08	0.26	0	0.034	-
出穂期11日後	8,550	0.04	0.15	0	0.019	-
無処理	8,556	0.29	3.33	0.06	0.368	-

注：データは3反復平均（無処理は2反復平均）

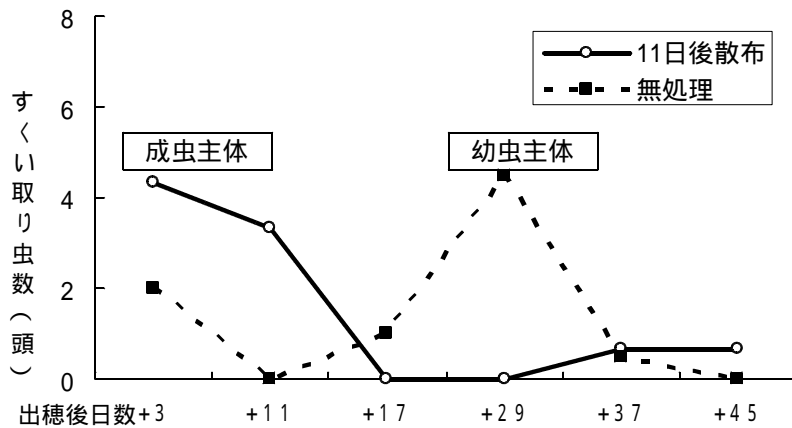


図1 ジノテフラン粒剤散布後のアカヒゲホソミドリカスミカメの発生推移(2001年)

表2 ジノテフラン粒剤の散布適期 (2003年)

散布時期	調査粒数	1,000粒当たり斑点米粒数			斑点米混入率(%)	薬害
		頂部	側部	他		
出穂期	9,998	1.80	18.20	0	2.00	-
出穂期5日後	9,493	0.68	8.11	0	0.88	-
出穂期10日後	11,553	0.04	0.73	0	0.08	-
出穂期15日後	10,606	0.42	10.32	0	1.08	-

注：データは2反復平均

引用文献：新山徳光 (2002). ネオニコチノイド系粒剤の湛水散布によるアカヒゲホソミドリカスミカメの防除. 第46回日本応用動物昆虫学会講演要旨